

病害虫防除技術情報 第2号

富山県農林水産総合技術センター所長

QoI 剤耐性のブドウべと病菌の発生について

べと病や晩腐病、褐斑病の防除薬剤として使用されている QoI 剤に耐性を示す「べと病菌」の発生が確認されました。このため、使用する薬剤の選定にご留意ください。

ブドウで使用されている QoI 剤

単 剤：アミスター10 フロアブル（アゾキシストロビン）

ストロビードライフロアブル（クレソキシムメチル）

混合剤：ホライズンドライフロアブル（ファモキサドン＋シモキサニル）

1. 耐性菌検定の概要

平成 25 年 6 月と 9 月に県内の 15 園地から罹病葉を採集し、農業研究所病理昆虫課において、べと病菌の遺伝子を解析し、41 菌株中 40 菌株が耐性菌であると判定されました。以上から、県内のブドウ園地では QoI 剤耐性菌が広く発生していると判断されます。

（検定方法：PCR-RFLP 法により、QoI 剤耐性菌に特有のチトクローム b 遺伝子の変異を確認するとともに、変異 8 菌株について該当領域の遺伝子を解読して、遺伝子の変異を最終的に確認。）

2. 対策

- 1) 当面の間、QoI 剤単剤のべと病に対する効果が期待できないことから、べと病に効果を有する他系統の薬剤あるいはそれとの混合剤を使用する。
- 2) 代替薬剤のうち CAA 剤や QiI 剤も耐性菌の発生リスクがあることから、年間使用回数を制限するとともに、べと病に効果を有する他系統薬剤との混用を推奨し、これら薬剤の耐性菌の発生リスクを低減する。

参考：日本植物病理学会耐性菌研究会（殺菌剤使用ガイドライン）

<http://www.taiseikin.jp/guidelines/>

問合せ先 農業研究所 病理昆虫課
TEL: 076-429-5249 FAX 076-429-2701